

## 両側腎細胞癌における遺伝子変異の解析

### 1. 研究の対象

2001年1月1日から2030年3月31日までに秋田大学医学部附属病院泌尿器科で両方の腎臓に腎細胞癌を診断され治療を受けられた方が対象になります。

### 2. 研究目的・方法

両側の腎臓に腎細胞癌が発症する両側腎細胞癌の患者さんは通常、遺伝子変異があると考えられます。しかしながら、遺伝する腎細胞癌の代表的な関連遺伝子である *VHL* や *FH*、*FLCN* といった遺伝子に変異を有する患者さんは少なく、関連がこれまで示されていない未知の遺伝子の関与が想定されます。本研究では国内外の多施設から両側腎細胞癌患者さんの組織を収集し、遺伝子解析を行い両側腎細胞癌の発症に関与する遺伝子変異の探索を行います。今回の研究では、両側腎細胞癌の発症に関わる新たな遺伝子と、その遺伝子変異を同定することで、両側腎細胞癌の早期診断や治療法の開発を目指します。

この研究では、研究対象者の方から提供していただいた腎細胞癌の組織から遺伝子変異を調べます。組織からDNAを抽出し、次世代シーケンサーという機器を用いて遺伝子変異の同定を行います。これによって両側腎細胞癌の発症に関与するこれまで未知の遺伝子の同定や早期診断、治療法の開発に結びつくと考えられます。

この研究では研究対象者の方のカルテから抽出した情報（病歴、血液検査、X線・CT・MRI画像、手術記録、病理検査、などのデータなど）をあわせて使用します。

研究実施期間：研究実施許可日～2030年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年3月2日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、性別、既往歴、治療歴、血液検査結果、画像検査結果、病理組織検査結果、予後など

試料：手術、検査などで採取した腎細胞癌組織、血液検体

### 4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、郵送により共同研究機関へ提供します。対照表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

旭川医科大学医学部医学科 腎泌尿器外科学講座	沼倉一幸
理化学研究所 基盤技術開発研究チーム	桃沢幸秀
理化学研究所 がんゲノム研究チーム	中川英刀
弘前大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座	畠山真吾
秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座	関根悠哉
岩手医科大学 泌尿器科学教室	小原航
東北大学 泌尿器科学講座	伊藤明宏
山形大学医学部 泌尿器外科学講座	土谷順彦
京都大学医学部 泌尿器科学教室	小林恭
* 「既存試料・情報の提供のみを行う機関」	
Asan Medical Center	Cheryn Song

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：秋田県秋田市本道 1-1-1

研究責任者：秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座 助教 関根悠哉

連絡先：018-884-6156（泌尿器科医局）

研究代表者：

旭川医科大学医学部 腎泌尿器外科学講座 教授 沼倉一幸

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀧 友則